実際に書き込んでみよう!

- 【作成手順】①自宅の災害リスクを知ろう…防災マップを確認しましょう。また、自宅周辺を歩いて危険個所を確認しましょう。
 - ②避難場所を検討しよう…まずは「安全な親戚・友人宅への避難」、「車で安全な場所への避難」など感染リスクが低く、安全な場所に避難することを考え、次に公共の避難場所等への避難を考えましょう。
 - ③避難するタイミングを決めよう…避難情報や防災気象情報を入手し、避難するタイミングを決めましょう。
 - ④防災気象情報・避難情報等の収集先を決めよう…複数のツールから情報を得る準備をし、万が一に備えましょう。

マイ・タイムライン(風水害)

1 🖹		害リスク 想定区域		\rightarrow	想定浸水:	m ^	~ m	
	土砂	災害警戒	区域	\rightarrow		城 (急傾斜地		区域(土石流) 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	指定	区域に該	当しない	\rightarrow	在宅避難が豆	『能ですが、	想定外もあ	り得る事に留意しましょう。
2 避	難する:	場所:①			2		移動手段:	移動時間
3 避	難する	タイミン	グ:					
	□ 防災行政無線 □ □ 安曇野市メール配信サービス □ 緊急速報メール □ ラジオ(防災ラジオ含む) □ 安曇野市ホームページ □ 気象庁ホームページ						□ 気象庁ホームページ□ 長野県砂防情報ステーション	
状	況	防災気	象情報		避難情報		わか	家の行動計画

◎家族や親せきの情報

名 前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考

避難に備えた行動を事前に確認!

「マイ・タイムライン」を作成しましょう

イ・タイムラインは、大雨や台風等により風水害が起こる可能性がある時に、自分や家族がとるべき避難に 備えた行動を、一人ひとりがあらかじめ決めておく「家族、自分のための防災行動計画」です。家族構成や 住宅の立地条件等の生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」を決めておくことで、急な判断を迫られる災害時に落ち着いて行動することができます。

簡単に作成できますので、下記の記入例を参考に**家族と避難行動を確認し、作成後は家族の目の届く場所へ掲示しましょう**。詳しくは市HPをご覧いただくか問い合わせください。

固危機管理課危機管理担当 ■71·2119 ■72·6739

	記入例
1	自宅の災害リスク □ 浸水想定区域(洪水) → 想定浸水: 5 m ~ 10 m
	□ 土砂災害警戒区域 → 特別警戒区域(土石流) ● 警戒区域(土石流) 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) ● 警戒区域(急傾斜地の崩壊) ● 警戒区域(急傾斜地の崩壊) ● 警戒区域(地滑り)
	□ 指定区域に該当しない → 在宅避難が可能ですが、想定外もあり得る事に留意しましょう。 後歩 20 分
2	避難する場所: ① 〇 〇 公 氏 館 ② 〇 〇 グラウンド 移動手段: 車 両 移動時間 5 分
3	避難するタイミング:気象方から土砂災害警戒情報の発表があった時、市が避難勧告等を発令した時
4	防災気象・避難情報等の収集先 ☑ 防災行政無線 □ 安曇野市メール配信サービス □ 京ジオ(防災ラジオ含む) ☑ 安曇野市ホームページ ☑ 安曇野市公式ツイッター ☑ 安曇野市防災行政無線テレフォンサービス(○120-27-1313)

状況	防災気象情報	避難情報	わが家の行動計画	
雨風が 強くなる前	レベル1 相当 早期注意情報 (警報級の可能性)		○テレビ (NHK) やインターネットで天気予報をチェック○家族の今後の予定や居場所を確認○家の周りに風で飛ばされそうなものがないか確認	
雨風が 強まってきたら	レベル2 相当 注意報		ONHKdボタンや長野県河川砂防情報ステーションで雨量 や河川の水住を確認 O携帯電話の充電を確認	
災害癸生の おそれ	レベル3 相当 ・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	避難準備· 高齢者等避難用站	○避難の準備を始めるタイミング○NHKdボタンや長野県河川砂防情報ステーションで雨量や河川の水住を確認○避難場所や移動手段を再確認○非常持ち出し袋を準備	
災害癸生確率大	レベル4 相当 ・土砂災害警戒情報 ・氾濫急険情報	避難勧告·避難指示 (緊急)	○避難するタイミング○離れている家族や知人に避難することを連絡○避難用始○携帯電話で最新の避難所状況や雨量を確認	
災害癸生	レベル5 相当 ・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	災害発生情報	○避難完了 ※万が一逃げ遅れてしまった場合、命を守るための最善の 行動をとる	

◎家族や親せきの情報

名 前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考
防災 太郎	090 -%- %	メガネ・持病薬	自宅	